

「あかしSDGs推進計画」元年予算 ～すべての人の暮らしに安心を～

2022年度の重点的な取組

まちづくりのすがた

「SDGs未来安心都市・明石」の実現へ

2022年度は、市の最上位計画の第6次長期総合計画「(仮称)あかしSDGs推進計画」によるまちづくりがスタートします。

市は、SDGsの理念である「持続可能」「誰一人取り残さない」「パートナーシップ」に基づき、経済・社会・環境の三側面が全てプラスとなる「三方よし」のまちづくりを推進してきました。

今後も、引き続きSDGsの考え方をまちの基軸と位置づけ、「まちの好循環」のさらなる維持・拡大を図ることで、すべての人が暮らしに安心することができ、持続可能で誰もが住みたい・住み続けたいと思えるまち「SDGs未来安心都市・明石」の実現を目指します。

いつまでも 持続可能

まちの好循環により、**未来**につながる**サスティナブル**(持続可能)なまちづくりに取り組めます。

やさしいまち

やさしい社会を明石から

SDGsの理念である経済・社会・環境の統合的向上を目指し、ハード・ソフト両面から**やさしいまちづくり**(やさしい社会を明石から)に取り組めます。

すべての人に 誰一人取り残さない

年齢・性別・障害・国籍などに関わらず、すべての人が**安心のインクルーシブ**(誰一人取り残さない)なまちづくりに取り組めます。

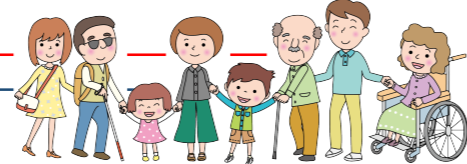


みんなで

パートナーシップ

市・市民・企業などが一丸となって**みんな(パートナーシップ)**で目標の達成に向けて取り組めます。

2030年度の目標
人口30万人の維持
「住みやすい」と思う人の割合 **100%**



2022年度の方針

① ウイズコロナ・ポストコロナ社会への対応

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、引き続き市民の命と健康を守ることを最優先に、感染対策と生活支援に市をあげて取り組めます。また、ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据え、これまでの対策や対応の経験を活かし、新たな生活様式にも対応したまちづくりに、官民連携で取り組めます。

③ 三側面からの統合的な取組によるまちづくり

SDGsの17の目標を包含する経済・社会・環境の三側面のまちづくりを、総合的にバランスよく取り組み、さらに相乗効果を生み出せるよう取組を進めます。

② 多様性を認め合えるまちジェンダー平等の実現

すべての人が大切にされ、誰一人取り残されないインクルーシブ社会の実現を目指し、年齢・性別・障害の有無・国籍などに関わらず、異なる価値観を認め合い、多様性が尊重されることで、誰もが活躍できるまちづくりを進めます。

④ パートナーシップによる市民主体のまちづくり

社会情勢の変化や多様化する市民ニーズを的確に把握し、柔軟に対応していくため、市、市民、事業者、NPOなどさまざまな主体のパートナーシップによって、市民主体のまちづくりを推進します。

① 新型コロナウイルス感染症対策と生活支援

長引くコロナ禍において、市民が安心して暮らし続けることができるよう、感染対策の強化をはじめ、生活支援とセーフティネットの構築にスピード感を持って取り組みます。

- ・ 感染対策の強化(P.6)とワクチン接種の実施(P.7)
- ・ 生活困窮者自立支援金支給事業等の実施(P.8)
- ・ こども夢応援プロジェクト事業の拡充(P.9)
- ・ あかし生活・地域経済応援キャンペーンの実施(P.10)
- ・ ひきこもり相談支援の充実(P.11)

② すべての人にやさしいまちづくり

誰もが住み慣れた地域で自分らしく、生きがいを持って暮らし続けられるよう、すべての人が助け合い、安心して暮らせるまちづくりに取り組めます。

- ・ SDGsの推進(助成金制度の創設)(P.13)
- ・ ジェンダー平等の実現に向けた取組(P.14)
- ・ 生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」の拡充(P.15)
- ・ インクルーシブ施策の推進(P.16)
- ・ 認知症あんしんプロジェクトの推進(P.22)
- ・ ヤングケアラーへの支援強化(P.25)
- ・ まちじゅうバリアフリーの取組
 - ▶ ユニバーサルデザインのまちづくりの推進(P.18)
 - ▶ 鉄道施設のバリアフリー化(P.19)
 - ▶ 17号池魚住みんな公園の整備(P.36)
 - ▶ 読書バリアフリー環境の充実(P.43)
 - ▶ 自治体DX(デジタル改革)の推進(P.11) など

③ こどもを核としたまちづくり

まちの未来でもあるこどもの育ちをまち全体で応援することも総合支援策のさらなる充実に取り組めます。

- ・ 学校教育におけるICT化の推進(P.27)
- ・ 個々の特性に応じた特別支援教育の充実(P.27)
- ・ 幼稚園3歳児枠拡充と認定こども園の新設(P.29)
- ・ 保育施設での使用済み紙おむつの持ち帰り廃止(P.30)
- ・ 親子のための保護者サポートモデル事業(P.30)
- ・ こども養育支援策の拡充(P.32)

④ 人にも自然にもやさしいまちづくり

明石の恵まれた自然環境を未来に受け継いでいけるよう、自然と共生し、調和のとれたまちづくりを進めます。

- ・ 豊かな海づくりの推進(P.33)
 - ▶ 全国豊かな海づくり大会の開催
 - ▶ 下水処理場での栄養塩管理運転 ほか
- ・ 脱炭素社会実現に向けた調査・計画策定(P.34)
- ・ 再生可能エネルギー活用の推進(P.34)
- ・ 教育施設等での照明設備のLED化の推進(P.35)

⑤ 安全・安心のまちづくり

安全・安心のさらなる確保のため、未来への投資として持続可能でやさしい都市空間づくりを計画的に進めます。

- ・ 市役所新庁舎整備に向けた取組(P.37)
- ・ 消防機能の強化(P.37)
- ・ 安全安心な魅力ある海岸利用の創出(P.38)
- ・ 安全で利便性の高い幹線道路の整備(P.39)
- ・ ハザードマップの改訂と全戸配布(P.40)
- ・ 安全安心な水道水の供給に向けた水源の確保(P.42)

⑥ にぎわいと活力が持続するまちづくり

まちの魅力を生かしたにぎわいづくりや、文化の薫るまちづくり、地域産業の振興に努めます。

- ・ 本のまち明石の推進(P.43)
- ・ プラネタリウム生誕100周年イベント(P.44)
- ・ 地域資源を活かした文化観光施策の充実(P.44)
- ・ 大久保北部の利活用の検討(P.46)
- ・ 住宅リフォーム費用助成の拡充(P.47)
- ・ 農業経営・新規就農者への支援の拡充(P.48)

